

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原 所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1
TEL/ 0531-24-2345 HP/ http://www.tahara-tmo.com/

街歩ook原

街あるっく田原

第9号

- プロジェクトX(田原授産所の設立)
- 黄色い春を見つけに行こう!!
- 鈴木養蜂園~ミツバチ屋のはちみつ~

プロジェクトX(田原授産所の設立)

昨年11月、豊橋市は市議会福祉教育委員会にて「豊橋市立特別支援学校(仮称)」の整備について基本案を提示した。

同校は平成27年に旧野依小学校跡に開校予定の養護学校である。本来設置義務は県にあり、市立での設置は異例なことだ。近年の生徒数増加に伴い、おとし8月に保護者らが学校増設を求め、3万人の署名を豊橋市長や県知事に提出したことが背景にある。

田原・豊橋・豊川・蒲郡・新城で障がい者の生まれる割合は03%前後であり、親になり子になるのは偶然の運命である。社会の基準は、障がい者より人口の多いその他の人間に合わせられている。そんな環境の中で障がい者を家族に持つというのは大変なことだ。しかし、この親なら障がい者でもしっかり育ててくれると人を選んで生まれてくるのだから。そう考えるとこれらの運動は、しか

るべき人々によって起こされていると思う。

田原市にも昔、障がい者施設を巡る運動があった。

蔵王山の麓、消防署横の登山道路を挟んだ右側に身体障がい者施設「蔵王苑」があり、左側には知的障がい者施設「蔵王の杜」「田原授産所」の2施設がある。社会福祉法人「成春館」は渡医院の渡キトさんが私財を投じ、それを元に福祉法人を設立したものの。それまで知的障がい者施設は、晩田地区に「田原福祉授産所」があったが、ここに来るまでに「田原手をつなぐ親の会(現・育成会)」の懸命な努力があった。

昭和四十年頃、この地方の学校によく特殊学級が作られたが、中学卒業後の進路はまったくわからなかった。春日井の県立「コロニー」程度しかなかったころ『田原に授産所を』と親の会が壮大な



新設の「田原福祉授産所」(巴江地区)
(現)『田原リサイクルプラザ』

居を経て61年に巴江地区定員20名の施設を新設。しかし次々と



初めての「田原授産所」(吉胡地区)
(現)『吉胡台なかよし公園』

夢を描いたのが「プロジェクトX」の始まりである。障害者を連れて歩けばジロジロ見られる時代にそんなことを言っただけではいけない切羽詰った親たちの気持ちであった。昭和47年、親たちは署名を集め、根気よく町当局に頼み込む。豊橋のような福祉事業団もない町だが、長い交渉末、52年秋に田原に初めて知的障がい者の施設ができたのである。

当初6名で始まった授産所もすぐに満員となり、改装・転



成春館授産所、蔵王の杜(蔵王山麓)
定員(授)50人(杜)50人

入所してくる子どもたちで作業するところではない状態になった。町から特別支援もなく、発足まもなくまだ軌道に乗っていない成春館に3千万円の資金を寄付し設立を依頼した。それはバザーや寄付金、会員負担金などを必死の思いで集めた資金であった。そして平成15年の桜の花咲くころ、思いを込めた施設が開所したのであった。

姉が知的障がい者であったJ・F・ケネディーは言った「この人達の問題こそ我々の未来を拓く鍵である」

障がい者の問題は他人事ではなく社会全体の問題であり、その対処方法が社会の成熟度を表す。このプロジェクトは、育成会の親たち自身も成長させた。

菜の花イベント
～掲示板～

★田原菜の花エコプロジェクト感謝祭 2012★
日 時：平成 24 年 1 月 7 日（土）午前 11 時～午後 3 時
内 容：田原産の菜種油で揚げた『さつまいもスティックの試食会』
※天候等により内容を変更する場合があります。

★食用菜の花摘み体験★
日 時：1 月～ 2 月までの土・日・祝日 午前 10 時～午後 3 時
料 金：1 袋 100 円 詰め放題（食用なばな）

★ECO で菜の花ライトアップ★
日 時：1 月～ 2 月までの毎週土曜日 午後 6 時～午後 8 時
※節電対策のため毎週土曜日のみとなります
場 所：田原市加治町新田の菜の花畑（国道 259 号沿い）
主 催：田原市・特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク

★伊良湖岬菜の花ソーデーマーチ★

開催日時：平成 24 年 3 月 3 日（土）・4 日（日）
午前 8 時受付開始
参加費：1,000 円/各 1 日
内 容：伊良湖岬の菜の花畑と河津柑をめぐり
『春のウォーキング大会』
主 催：伊良湖岬菜の花ソーデーマーチ実行委員会

黄色い春を 見つけに行こう!!

菜の花イベント

菜の花ライブ
in セントファーレ

菜の花まつり

★菜の花ライブ in セントファーレ★

★開催日：平成 24 年 2 月 19 日（日）
★公演時間：午前 11 時～、午後 1 時 30 分～
（各 30 分公演）
★場所：セントファーレ センターコート
★曲目：『花の街』『朧月夜』『花』 他



パティン 李 宗潤（リー ジョンユン）
韓国長老会神学大学音楽学部声楽科卒業。
ドイツカッセル市立音楽院ディプロマを最優秀取得。
東京二期会会員。



ソプラノ 田辺菜美子
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。
ドイツカッセル市立音楽院声楽専攻ディプロマを最優秀取得。
東京二期会会員。



ピアノ 野畑さおり
梶丘高等学校音楽科、
東京音楽大学ピアノ演奏家コース、
ドリスデン国立音楽大学大学院首席卒業。

【物産展 開催!!】

★日付：平成 24 年 2 月 19 日（日）
★時間：10:00 ~ 15:00
★場所：中央広場
※雨天時はセントファーレ
★商品：地元の野菜・スイーツなど

★ご来場者には『菜の花』プレゼント!!★



オープニング
～イベント～

1 月 7 日（土）
●セレモニー
午前 9 時 30 分～
●菜の花餅投げ
午前 10 時～

なのはな号出発式
（電車・バス）

●東三河のゆるキャラが大集合! 1 月 7 日（土）午前 11 時 30 分～
（場所：三河田原駅）

ほのぼのの写真
「コンテスト!!」

●菜の花と一緒に
思い出を写そう!
（3 月末締切）

菜の花畑で
かわいい虫に大変身!
1 月 14 日（土）～3 月 25 日（日）
までの土・日のみ
午前 10 時～午後 3 時

撮影スポット!

菜の花
イルミネーション

イルミネーション点灯式
1 月 28 日（土）
午後 5 時 30 分～
～イルミネーション点灯期間～
1 月 28 日（土）～3 月 25 日（日）
午後 6 時～午後 9 時



1 月 7 日（土）～3 月 31 日（土）まで
イベント会場『伊良湖菜の花ガーデン』
（国道 42 号沿い）

菜の花狩り

午前 9 時～午後 3 時 30 分
（期間中 毎日開催!!）

有料：5 本 100 円

★『黄色い春をお土産に!★
1 月 14 日（土）～3 月 25 日（日）
土・日のみ
午前 11 時～午後 2 時は無料!!

菜の花迷路で
遊ぼう!

広い菜の花畑に登場した
『巨大菜の花迷路!』
ゴールまでたどり着けるか?!

ちっちゃい茶店
「菜の花や」

午前 9 時～午後 3 時 30 分
（期間中 不定休）

ほくほくあま〜い『菜の花コロッケ』
『菜の花シェーラート』
『特製の菜の花のどん汁』

菜の花 特産品

午前 9 時～午後 3 時 30 分
（期間中 毎日開催!!）

渥美半島の『野菜』や
『お土産品』を買うならここ!!

菜の花イベント

1 月 14 日（土）～3 月 25 日（日）
午前 10 時～午後 3 時
土・日のみ

渥美半島の野菜や花、あさりやシラスなど
三河湾の海の幸、菜の花スイーツ、その他
こだわりの産品が日替わりで登場!!



『ミツバチ屋のはちみつ』

File No.5

鈴木養蜂園 ~養蜂家~

鈴木良近さん

プロフィール

1973年生まれ。加治で育つ。大学卒業後、6年間会社勤めをし、2002年からご両親と同じ養蜂家へ。



昭和49年頃、両親が趣味で養蜂を始めるが、父親が体調を崩したのをきっかけに10年ほど前から鈴木さん自身も養蜂の道へ。鈴木さんは「自然の物をそのままに、純粋で本物ののはちみつを届けたい。身体に良いはちみつをもっと手軽に使い、健康の手助けになれば」と考えている。

鈴木養蜂園では、はちみつの生産直売をはじめ、交配用蜜蜂の販売・貸出・スズメバチ駆除等も行っている。現在鈴木養蜂園で販売しているはちみつは「春の花蜜」「菜の花」「クロガネモチ」「みかん」の4種類。定番の「菜の花」は、濃厚でしっかりとした甘みのある昔なつかしい味。一番人気はやはり「クロガネモチ」。樹木のような香りと後味のすっきりした上品な甘さだ。

はちみつはお肉料理と相性が良く、柔らかくしたり臭みを消す効果がある。また豆乳・バナナ・はちみつを混ぜたバナナジュースもおススメだとか。ぜひ試してみたい。

おいしいはちみつを採る条件は「ミツバチの数」「花」「天気」の3つが揃うこと。自然を相手にしているため難しく、その年によって採れる種類や収量が変わるようだ。

鈴木さん手作りの巣箱には、一匹の女王蜂と何匹もの働き蜂と雄蜂が入っている。春に生まれた働き蜂は、一生懸命はちみつを集めるため1ヶ月ほどで一生を終えてしまう。一方、秋に生まれた働き蜂は次の春まで活躍する。一匹のミツバチの一生で採れるはちみつはティースプーン1杯程度。私たちが買うのはみつ1瓶は、何千・何万匹ものミツバチの命と引き換えに採れた非常に貴重なものだ。市場では、輸入品や加工品が多く出回っているが「ミツバチの命と引き換えに採れるはちみつに手を加え、人間の利益の為に何かをするのはミツバチに申し訳ない」と鈴木さんは言う。ミツバチに対する鈴木さんの思いが伝わってくる言葉である。



~奥様のおススメ~ はちみつバナナヨーグルト

田原市内の小学校では5年前から環境教育の一環として菜の花の栽培を行っている。NPOや市と共に鈴木養蜂園も参加し、巣箱の中のミツバチの大群観察や蜜を取り出す作業、試食などを子供達に体験してもらっている。(子とともに ゆう&ゆう6月号掲載)今後の展開を尋ねると、年間を通してミツバチのお世話や巣箱づくりには「まだまだ発展途中だから……。」と語る鈴木さん。田原を拠点にはちみつの魅力を伝えていくキーマンとなりそうだ。

(有)鈴木養蜂園

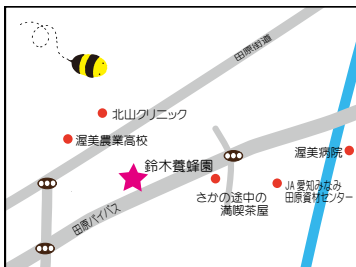
田原市加治町沢 57-1

☎ 0531-22-3724

🕒 9:00-18:00

📅 不定休

📦 有り



(右) 店内では、4種類の味とサイズが選べる。(下) ギフト包装も可能。専用のはちみつスプーンも取扱い中。

